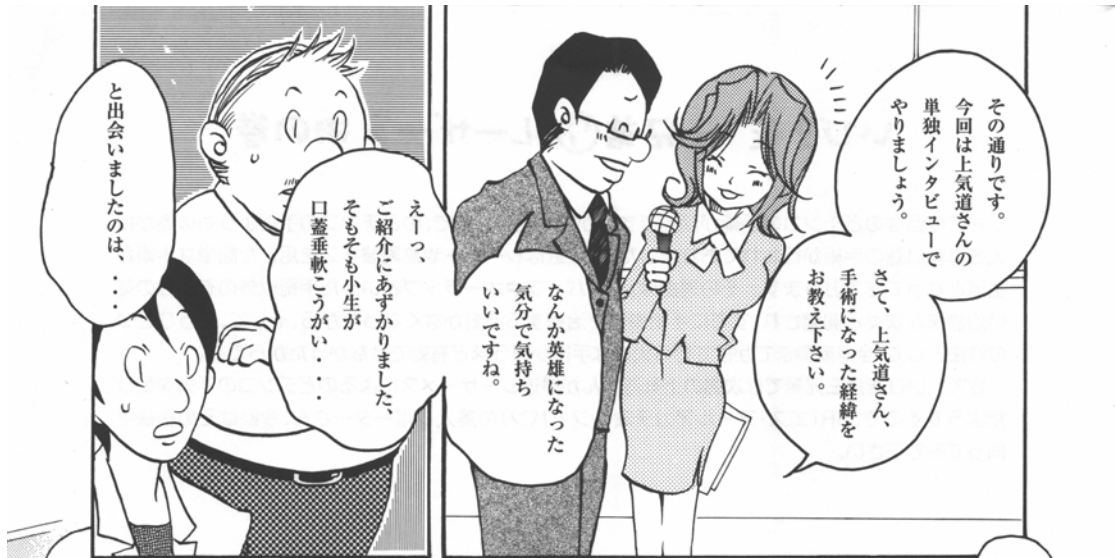


いびき症 三兄弟⑦ レーザー手術の巻

さて今回はのどチンコの手術が話題です。かつて全身麻酔で、のどチンコの手術よりもはるかに大きな軟口蓋の手術が行われておりましたが、最近ではレーザーや高周波メスを用いた簡単な手術が主流となってきております。その理由は、シーバップやオーラップといった手術以外の有効性の高い治療法が次々と開発され、すでに手術単独で治療する必要がなくなったから、そして、もうひとつの理由として、全身麻酔までかけて行う大きな手術が思うほど有効ではなかったからです。

さて、いびき症三兄弟では次男の上気道さんが最近レーザーメスによるのどチンコの手術を受けたようですので、SR(エス・アールアカデミージャパン)の美人レポーターさん、今回はその模様を伺ってみて下さい。







兄さん、私のインタビュだったって...

手術の内容は無呼吸兄さんが言ったとおりのレーザー手術です。

ええい、まわりくどいな。レーザーだろレーザー。いちばん簡単な。

ふむふむ。それで、どんな手術を受けたんですか？

えーっ、手術にもいろいろありまして、...小生の受けた手術は...



レーザー手術にも1〜2回で終わる方法（カナダ法）と6回かかる方法（アメリカ法）っていうのがあってね、

私は回数の少ないカナダ法を願ったんだ。

そういえば、リストラがあるから会社を休みたくないっていつてたね。



もっと大きい全身麻酔の手術もあるんだけど、結果は大差ないっていうから簡単な手術にしてみました。

入院もいらなくて言うしね。



レーザー発射。

のとチンコに注射をして、機械でのとチンコを挟んで、

胃カメラ用の麻酔を飲んで、

手術は普通の歯医者の椅子に座って、



それで、手術はどうでした？





さて今回は手術の話でしたが、いかがだったでしょうか。以前に比べて手術の需要は少なくなっていますが、それでも手術をした方がいいだろうと思われる方はいらっしゃると思います。それは、のどチンコが2cm以上長い人や軟口蓋のセイルエフェクトのある人です。シーバップやオーラップをお使いの人でも、手術を希望する人は歯科口腔外科や耳鼻科の先生に相談してみてください。

さて、次回のテーマは、レポーターさんの要望どおり、減量治療です。